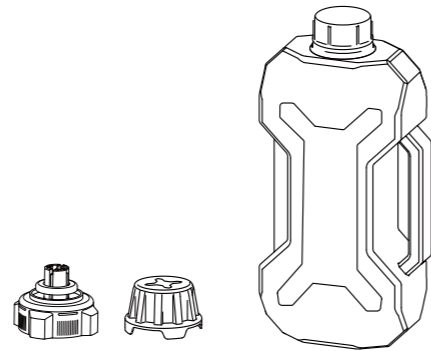


GEAR MISSION

GM-TKNZ1 2L タンク・給油ノズルセット 取扱説明書

※2Lタンクのみをご購入のお客様へも共通の取扱説明書を使用しております。



KEROSENE ONLY / 灯油専用

このたびはお買い求めいただきまことにありがとうございます。

- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しく使用してください。
- 本説明書は、ご使用のストーブ取扱説明書と一緒に保管してください。

お願い

- 使い始めやシーズン始めなどストーブの油タンクが空のときは、ストーブにある油量計の「満」の位置まで給油してください。油量が少ない状態で点火すると、燃焼筒が十分に赤熱しない、炎が小さいなどの異常燃焼になるおそれがあります。
- 本製品は GEAR MISSION 対流形石油ストーブ用です。

安全のために必ずお守りください

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を右記の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った使いかたをしたときに、人が死亡または重傷を負う危険、または火災が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。



警告

誤った使いかたをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を表示しています。



注意

誤った使いかたをしたときに、人が軽傷を負う可能性や物的損傷の発生が想定される内容を表示しています。

・お守りいただく内容を、次の絵表示で区分けしています。



「禁止」されている内容です。



必ずしていただく「指示」内容です。

USE / 用途

- 2L タンクは、燃料運搬容器です。2L タンクで長期間燃料の保管はしないでください。
- 給油口キャップを 2L タンク専用の給油ノズルに付け替えることで、2Lタンクから直接 GEAR MISSION 対流形石油ストーブに給油できます。
- 2L タンクのみをご購入された場合は、市販の給油ポンプで給油してください。



危険



ガソリン保管禁止

ガソリン保管禁止

ガソリンを入れて絶対に保管しないでください。2Lタンク・給油ノズルが侵食されて変形し、ガソリンが漏れるおそれがあります。



警告



離す

火気との距離を離す

2Lタンク・給油ノズルは火気より2m以上離してください。火の近くに置くと引火のおそれがあります。



指示

直射日光を避ける

紫外線などで 2L タンク・給油ノズルが劣化し、短期間のうちに強度が落ちます。燃料漏れの原因になります。



禁止

5年以上の使用はしない

2Lタンク・給油ノズルは紫外線などで徐々に劣化します。事故防止のため5年以上の使用はしないでください。



禁止

幼児の手の届くところに置かない

燃料を誤飲などして、健康被害を起こす原因になります。燃料をこぼして、火災の原因になります。



禁止

温度の高い場所に放置しない

密閉された車内など温度の高い場所に放置しないでください。2Lタンク・給油ノズルの変形や破損、灯油の変質の原因になります。



消火

給油時消火

ストーブへの給油は、必ず消火していることを確認し、ストーブの温度が十分に下がってから、周りへ火の気のないところでおこなってください。火災の原因になります。



注意



禁止

灯油以外のものは入れない

2Lタンクに灯油以外のもの（ガソリンや軽油など）を入れしないでください。また、不良灯油（変質灯油、不純灯油）を入れしないでください。



指示

燃料は密栓して貯蔵する

燃料を入れて一時貯蔵する場合は給油口キャップで密栓した状態で貯蔵してください。給油ノズルを取り付けた状態での貯蔵はおやめください。燃料がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。



禁止

横倒しにしない

燃料が入った状態で積み重ねたり、横倒ししないでください。燃料がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。



指示

給油口キャップや給油ノズルはしっかりと締め付ける

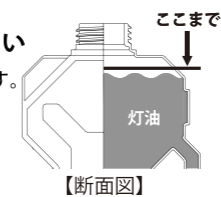
給油口キャップや給油ノズルはパッキンが確実にセットされていることを確認し、しっかりと締め付けてください。燃料がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。



禁止

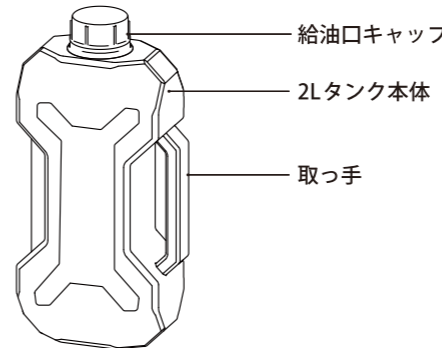
燃料の量は図の規定位置以上入れない

入れすぎると燃料があふれる原因になります。



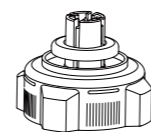
【断面図】

SET ITEMS / セット内容

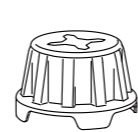


2Lタンク

2L タンクのみご購入の場合、給油ノズルは付属されません。別売品となります。



給油ノズル本体



ノズルキャップ

給油ノズル

DISPOSAL METHOD / 廃棄方法

- 2L タンク内の灯油を抜き取り、各自治体の指導に従って廃棄してください。



禁止

長期間の保存容器として使用しない

2Lタンクは運搬容器です。灯油を 2Lタンクで長期間保存すると、灯油の変質の原因になります。ストーブに変質灯油を使用すると、異常燃焼や故障（しんが下らない・点火できない・火が消えない）の原因になります。



指示

点検をする

給油口キャップや給油ノズルのパッキンはこまめに点検し、劣化や破損が見られる場合は交換してください。



禁止

給油ノズルを取り付けたまま運搬しない

給油ノズルを取り付けたまま運搬しないでください。燃料が漏れる原因になります。運搬時は必ず給油口キャップをご使用ください。万一の油漏れに備えて、2Lタンクをビニール袋に入れ、トレイの上に載せたりしてください。2Lタンクは給油口キャップを上向きにして、転倒しないようにしてください。



禁止

給油口キャップを締めるときは 2L タンクを傾けたり、揺らしたりしない

2Lタンクに燃料を給油後、給油口キャップを締めるときは 2Lタンクを傾けたり揺らしたりしないでください。燃料があふれたり、漏れたりして周囲を汚すおそれがあります。



指示

給油は専用の給油ノズルを使用する

2Lタンクからストーブへ直接給油するときは専用の給油ノズルを使用してください。燃料がこぼれて予想しない事故が発生するおそれがあります。市販のポンプで給油される場合には、2Lタンクが倒れる等で、灯油がこぼれないように充分注意してください。

SPECIFICATION / 仕様

2Lタンク

外形寸法 高さ 334mm× 幅 165mm× 奥行 80mm

質量 350g

容量 2L

材質 2L タンク本体・給油口キャップ：ポリエチレン

給油ノズル

外形寸法 高さ 53.5mm× 幅 69mm× 奥行 69mm

質量 57g

材質 給油ノズル本体：POM ノズルキャップ：PP



お客様相談窓口

0120-104-154

FAX からの場合 052-857-1220
受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時
<土日祝は除く>

株式会社 トヨタ

〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
https://www.toyotomi.jp/

FUEL / 燃料

- ・2Lタンクに入れることができる燃料は、JIS 1号灯油のみです。ガソリン・軽油は絶対に入れないでください。
- ・2Lタンクは運搬容器の為、燃料を長期間保管する場合は色付き灯油用ポリタンク(推奨マーク付き)を使用してください。
- ・石油ストーブには不良灯油(変質灯油、不純灯油)は絶対に使用しないでください。

不良灯油(変質灯油、不純灯油)とは

変質灯油とは

- ・昨シーズンより持ち越した灯油。
- ・温度の高い場所で保管した灯油。
- ・日光の当たる場所で保管した灯油。
- ・乳白色のポリタンクで保管した灯油。
- ・灯油用ポリタンクのふたが開けてあった灯油。



不純灯油とは

- ・水やごみなどが混入した灯油。
- ・ガソリン、軽油、シンナー、天ぷら油、機械油などが混入した灯油。
- ・灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油。
- ・水抜剤や助燃剤を添加した灯油。



不良灯油(変質灯油、不純灯油)の見分けかた

色で見分ける方法があります。2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れます。その2つのコップの背後に白い紙をあて色を比較し、灯油に色がついていたら、変質灯油の可能性があります。変質灯油になると黄色をおびた色になったり、すっぱい臭いがしたりします。(保管状態によっては、変色していなくても灯油が変質している場合があります。)また、水が混入した不純灯油の場合は、水が下にたまり、灯油と水が分離した状態になります。



正しい灯油の保管方法

- ・灯油は屋内の冷暗所で保管してください。
- ・火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で保管してください。翌シーズンに持ち越さないようにしてください。
- ・紫外線を通しにくい色付きの灯油用ポリタンク(推奨マーク付き)を使用してください。乳白色のポリタンク(水用)は使用しないでください。ふたは、しっかり締めて保管してください。但し、灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するので推奨マーク付きの灯油専用容器でも日なたに放置しないでください。日なたに放置すれば変質灯油になってしまいます。

良い保管	悪い保管
直射日光、雨水が当たらず、火気のない冷暗所へ保管。	直射日光、雨水の当たる、ベランダなど、室外の保管。

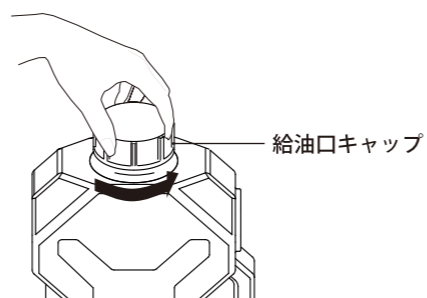
HOW TO USE / 使いかた

2Lタンクに燃料を入れる

1

2Lタンクの給油口キャップを取りはずす

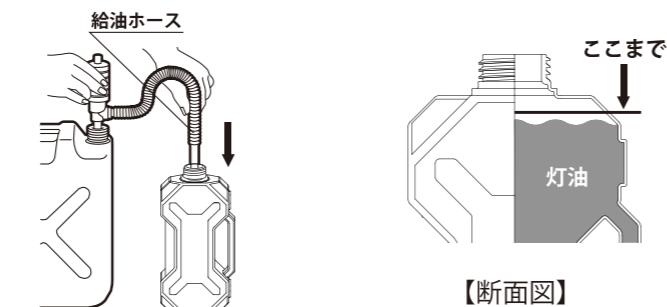
- ・2Lタンク本体を支えながら給油口キャップを左方向に回して取りはずしてください。



2

2Lタンク本体に燃料を入れる

- ・灯油の量は図の規定位置までにしてください。入れすぎると、給油口キャップを締めたときに燃料があふれる原因になります。



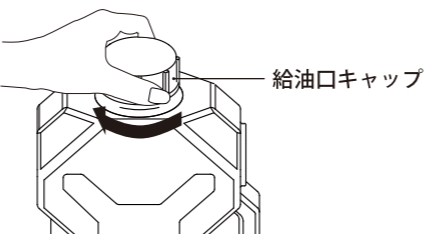
お願い

- ・給油は明るい場所でおこない、時々、油面を見ながら給油をしてください。
- ・オート給油ポンプを使用する場合は、クリップで2Lタンク本体の給油口に固定するか、手で固定しながら灯油を入れてください。
- ・自動停止装置付きのオート給油ポンプは、ポンプの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・給油の際は必ず2Lタンク本体を手で支えながら給油してください。

3

2Lタンクの給油口キャップを締める

- ・2Lタンク本体を支えながら給油口キャップを右方向に回して、外れないようしっかりと給油口キャップを締めてください。



※給油口キャップを締める前にキャップ内側にパッキンがセットされていることを確かめてください。

ストーブに給油する

ストーブへ給油する際は、2Lタンク専用の給油ノズルを使って以下の手順で給油してください。2Lタンク専用の給油ノズルをお持ちでない場合は、市販の給油ポンプで給油してください。

警告

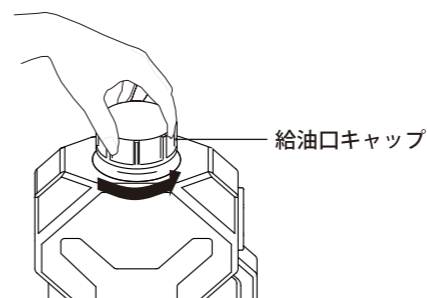
給油時消火

ストーブへの給油は、必ず消火していることを確認し、ストーブの温度が充分に下がってから、他に火の気のないところでおこなってください。

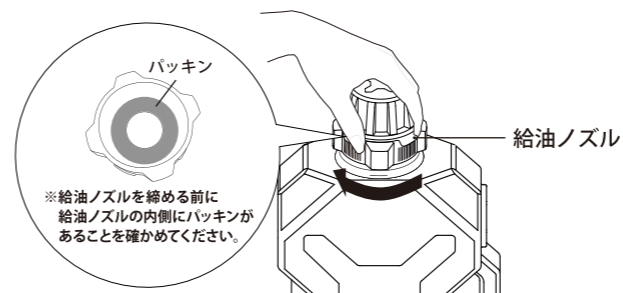
1

2Lタンクに給油ノズルを取り付ける

- ①2Lタンク本体を支えながら給油口キャップを左方向に回して、取りはずしてください。



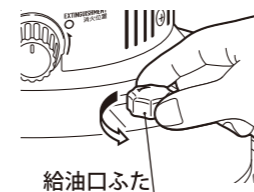
- ②2Lタンク本体を支えながら、給油ノズルを右方向に回して、しっかりと締めてください。



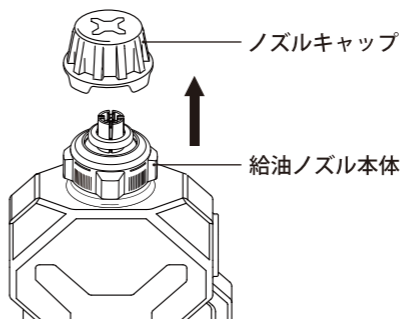
2

2Lタンクをストーブにセットして給油する

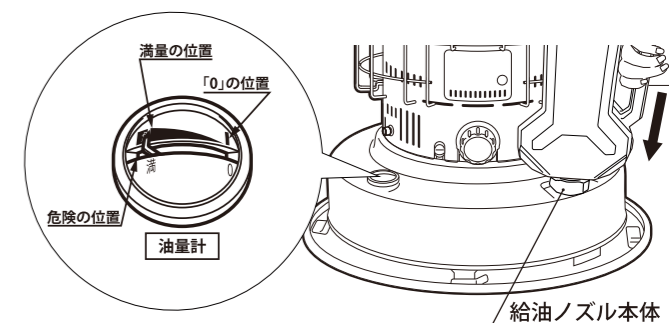
- ①ストーブの給油口ふたを左方向に回して、取りはずしてください。



- ②給油ノズルのノズルキャップを取りはずしてください。



- ③給油ノズル本体の先端をストーブの給油口に挿入し、押し当てることで弁が開いて給油されます。油量計を見ながら給油してください。

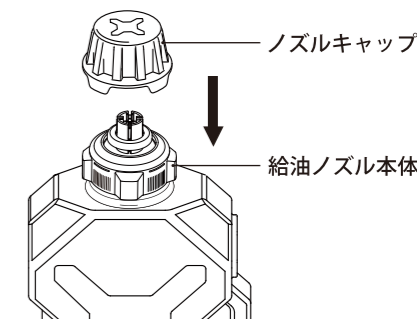


※給油が進むにつれて2Lタンクが浮いてくることがあります。しっかりと2Lタンクをストーブの給油口に押し当てて給油してください。
※給油ノズル本体を給油口から抜くことで、弁が閉まり給油が止まりますが先端から灯油が数滴こぼれることがあります。こぼれた灯油は必ずきれいにふき取ってください。

3

給油が完了したら給油口キャップを取り付ける

- ①給油ノズル本体にノズルキャップを取り付けてください。



- ②2Lタンク本体を支えながら、給油ノズルを左方向に回して、取りはずし、給油口キャップを右方向に回して、外れないようしっかりと給油口キャップを締めてください。



- ③ストーブの給油口ふたを右方向に回して、締めてください。

